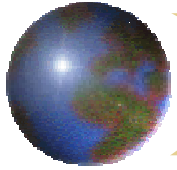


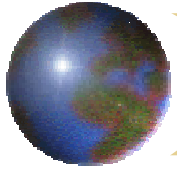
*ICANNカルタゴ会合
政府諮問委員会報告
(2003. 10. 26-29)*

2003年11月26日
第8回 ICANN報告会



目次

1. 新メンバー参加とアウトリーチ	3
2. Whois	4
3. WIPO II勧告	5
4. ccTLD政策	6
5. GAC将来体制	7
6. IPv6	8
7. レジストリの新サービス	10



1. 新メンバー参加とアウトリーチ

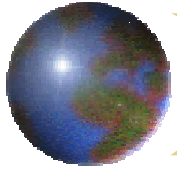
1. 新メンバー

現在、GACメンバーは約80(うち、約70メンバーが国であり、他は地域・国際機関等)。

今回、ガーナ、ジブチ、タンザニア、バチカン市国等が初参加。

2. アウトリーチ

- ・ 会合前日にGAC主催によるアラブ、アフリカ地域参加国向けワークショップを開催。17の国、機関等が参加。
- ・ 今回、地域性を考慮し同時通訳をリオ会合に続いて導入。
(英・仏・アラビア)
- ・ 今後の会合においても地域ワークショップの開催など、地域ベースの活動を強化していく予定。



2. Whois

GAC Whois—WG

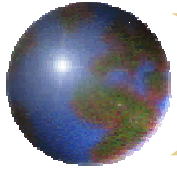
- ・ モントリオール会合以降、各国政府にWhoisデータベースの利用・関心に関する質問表を送付。年内に回収しその後とりまとめ。
- ・ 今後、消費者保護、知的財産権保護、法執行上の必要性等、公共政策の観点からWhoisに関してGAC内で議論していく予定。

[参考]

Whoisワークショップ

前回のモントリオール会合に続き、第2回目のワークショップ開催。

- ・ 国際化、情報要素の取り扱い、正確性、公開レベル等について、各パネラーから意見。
- ・ 6月に続き、インターネットコミュニティ全体でWhoisに関する課題共有を行う良い機会となった。



3. WIPO II 勧告

国名・国際機関名の保護

1 会合前の状況：

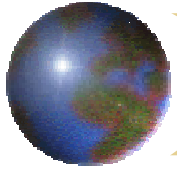
- ・ 前回の会合で「WIPO 勧告に関する合同WG」へGAC代表を送ることを決定。EC, WIPO, UK等計7名が参加。
- ・ 前回GACコミュニケにおいて、10月のカルタゴ会合までにその作業概要と実施予定を作成することを要請したが、提示されず。
- ・ 10月6日に合同WG結成に関するアナウンス。

2 今回のコミュニケ：

(1)カルタゴ会合では、合同WGから作業の方針とスケジュールについて提示がなかったことに対し、遺憾の意。

ICANNプレジデントが来年3月のICANNローマ会合までWGから理事会に報告を要請したことは歓迎。

(2) 合同WGの検討範囲は、WIPO 勧告の実施に当たっての実行上・技術上の問題点に制限されるべきと念押し。



4 . ccTLD政策

GAC ccTLD原則の見直し

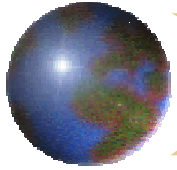
- ・GACccTLD原則の見直しについて、次回ローマ会合までの作業スケジュールを決定。ccTLDコミュニティや、ICANN全体へも途中ドラフト版を公表し、意見を聞く予定。

委任、再委任手続き

- ・係争中の再委任問題について、いくつかの国が懸念を表明。
- ・委任、再委任の問題についてICANNに対し解決するよう働きかけ。

ccNSOへの参加

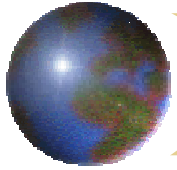
- ・ccNSOへ全てのccTLDレジストリが参加するようICANNによる継続的な作業を奨励。



5. GAC将来体制

GAC 将来体制とその財源

- GAC事務局の今後の在り方について議論。
- 2003年1月、それまでの豪州政府から欧州委員会へ事務局移管。当初の約束は18ヶ月間。但し将来体制が決定するまでしばらくの間延長することについて欧州委員会は柔軟に対応可能である旨表明。
- GAC体制の独立性や中長期的な安定化に向け、各国政府からの運営資金の拠出方法や体制について、今後継続議論をするため、新たなWGの設置を決定。日本も参加。



6. IPv6

○ GAC IPv6－WG

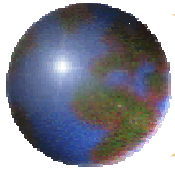
- 情報共有とIPv6移行の障壁を取り除くため、各国の近況等情報交換。
- 我が国からの提案に基づき、今後、ルートや各国ccTLDのDNSサーバのIPv6対応状況等を関係機関と連携し、調査をすることとなった。

○ GAC IPv6ワークショップ

- GAC IPv6-WG議長の日本が中心となり、オープン開催。
- 各国政府関係者を中心に30～40名程度参加。
- 4人のパネリストから発表
 1. 「A Policy Look at IPv6」：ITU-D
 2. 「IPv6 Allocation Assignment」：RIPE/NCC
 3. 「IPv6 Activities Update in Asia Pacific」：IPv6普及・高度化推進協議会
 4. 「IPv6 Development in Tunisia」：Tunisian Internet Agency

ドキュメント URL

<http://www.gac-icann.org/web/meetings/mtg17/index.shtml>

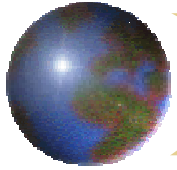


GAC IPv6ワークショップの様子



Schedule

11:00	Opening Remarks Mr. Masahito Uemura (Japan) Mr. Carlos Garcia (Spain)
11:00 - 11:25	Presentations (20min x 3) Mr. Carlos Garcia (Spain) Mr. Masahito Uemura (Japan) Mr. Masahito Uemura (Japan)
11:25 - 11:50	Panel Discussion Mr. Masahito Uemura (Japan) Mr. Carlos Garcia (Spain) Mr. Masahito Uemura (Japan)
11:50 - 12:00	Panel Discussion Closing



7. レジストリの新サービス

ODNS Wildcard (Sitefinder service)

- ・ベリサインの当該新サービスに関して、インターネットコミュニティにおける関心が競争、技術、利用者に関連していることから、議論となった。
- ・ICANN CEOは、GNSOに対し、新規のレジストリサービス導入にあたり適時で、透明かつ予見可能な手続きを策定するよう要請。
- ・GACは、上記プロセスを公共政策の観点からモニターを続けることとした。